第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会競技課題に関する問合せに対する回答

競技部門名　溶接　部門

【　問合せ内容　】

1　溶接ブースの環境（机・椅子の高さ、溶接機の位置）を教えていただけますか。

2　参加者各自が持参するものの中でワイヤブラシやたがね等の個数の制限はありますか。

3　電流調整板からアークスタートして母材にアークを移して溶接しても大丈夫か。母材からアークスタートしなければならない等のルールがありますか。

4　最終層で溶接を中断する際のマーキングのかわりに溶接残棒や石筆などの不燃物をマーキングとして使用しても良いですか。

5　溶接中、溶接棒の取り替えは自由とする。と記載があるが、中間層で使用した溶接残棒を再度、使用してもよいですか。

6　不安全行為のなかに、スラグ除去時に顔面を保護しないとの記載があるがスラグ除去時に保護メガネの着用だけでは減点になるという解釈ですか。スラグ除去時はフェイスシールド等の完全に顔面を覆うものでなければならないのですか。

【　回答　】令和８年(2026年) ９月２日回答

1　各スペース及び器具の写真を掲載します。

①　溶接ブース
②　開先加工作業台
③　交流アーク溶接機：Panasonic 製　YK-300AJ3
④　溶接作業台：幅 600㎜×奥行き 450㎜×高さ 405㎜（若干の高低あり）
　　椅子：直径 290㎜×高さ 260㎜（又は 360㎜）（高さは選択可、若干の高低あり）

①　溶接ブース

②　開先加工作業台

③　交流アーク溶接機

④　溶接作業台、椅子

2　持ち込みを許可されている工具に対して、個数の制限はありません。

3　電流調整板からアークスタートして母材にアークを移して溶接することは禁止します。なお、その他の評価試験も溶接技能者評価試験（JIS Z 3801/WES8201）の「N-2F」に準じます。

4　最終層の中断位置に、溶接残棒や石筆などの不燃物をマーキングとして使用することはできません。

5　中間層で使用した溶接残棒を、再度使用することに問題はありません。

6　記載のとおり、スラグ除去時に保護メガネの着用だけでは、不安全行為として減点（－2）になります。よって、フェイスシールド等の完全に顔面を覆うものを使用してください。ただし、溶接が終了し、溶接機のスイッチを切った後に競技作品を清掃する際は、スラグ除去時とはならないので、保護メガネの着用だけでも可となります。

【　問合せ内容　】

1　溶接機のメーカー、型番を教えてください。

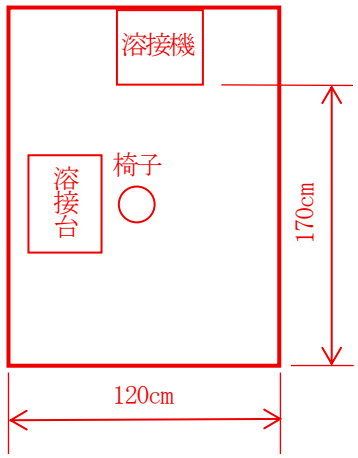
2　作業ブースのサイズを教えてください。

3　作業台、イスのサイズを教えてください。

【　回答　】令和８年(2026年) ９月10日回答

1　回答済み。

2



【注意】左図の寸法は作業スペースとして移動可能な距離の目安としてください。また、ブースによって若干の誤差があることを御了解ください。

3　回答済み。

【　問合せ内容　】

1　第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会「溶接部門」開催要項の、９　その他(6)に「最低電流は90A程度を想定していること」とありますが、短絡したときに測定した電流なのか？実際にアークを出したときに測定した電流か？

【　回答　】令和８年(2026年) ９月10日回答

1　アークを発生していない状況で電流調整板と溶接棒を短絡し、クランプメーターで測定した値です。ただし、必ず90Aまで下がることを保証するものではありません。